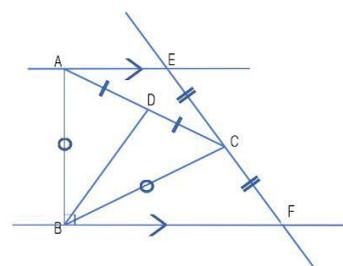


第3回研修会

第3回の研修会は静岡大学教育学部附属浜松小学校を会場に、附属小学校の2学級と附属中学校の1学級を対象とした研究授業を行いました。中学校では附属中学校の高林先生が2年生を対象とした平行と合同の授業を行いました。

1. 研究授業

授業者	高林 大輔（附属中教諭）	単 元	平行と合同
本時の目標	提示された図の中にある性質を見つけ、平行線と角の性質や三角形の合同などの既習事項を活かして発見した性質が成り立つことを説明することができる。 (数学的な見方・考え方)		
学習課題	右のような条件で作られた図から、この図における性質を見つけ、それが成り立つことを説明しよう。		
評 価	提示された図の中にある性質を見つけ、平行線と角の性質や三角形の合同などの既習事項を活かして発見した性質を説明することができたか。		



提示された図から生徒自身が性質を見つけ、既習事項を活用してそれを検証する活動を行いました。与えられた問いに取り組むのではなく、生徒自身が問いを見だし、検証に向かっていくことで主体的に取り組む姿が見られました。また、生徒はこれまでの習得した図形の性質をまとめた「定理マップ」を作成しており、説明する際はそれを活用しながら、根拠を明確にし、分かりやすい説明ができていました。

【定理マップの活用】



【話し合いの様子】



【体育館での授業】



【全体発表の様子】



2. 研究協議 及び 事後アンケート（中学校数学）より

○難しい課題に根気強く向かう生徒の姿が見られ、とても勉強になりました。

○いろいろな補助線が引けるおもしろい図で参考になりました。

主体的、対話的で深い学びの実践に向けて自校の授業に活かしていきたいです。

●オープンエンドの題材のため、

ゴール（まとめ・評価）が難しいと思いました。

△今回の授業の課題を宿題としておき、

性質を説明するところから授業に入るのも良いと思いました。

△等しい長さの辺等は示さず、

自分たちで仮定させるとおもしろいと思いました。

【研究協議の様子】

